

# こうのとり通信

No.88

発行日：2016年10月10日 編集：広報委員会 <http://www.hacsw.or.jp/>

## 会長就任にあたって ～社会福祉士会の発展に向けて～

会長 岡本 和久

この度の役員改選にともない、引き続き、本会の会長に就任することとなりました。改めてよろしくお願ひします。また、新理事・新監事も信任いただきました。新たな執行体制で、社会福祉士会のさらなる発展に向けて、尽力してまいります。

さて、ここ最近、私たち社会福祉士をめぐる状況を振り返ると、地域包括支援センターへの社会福祉士の配置から10年目を迎えるとともに、刑余者やホームレスなど低所得者や社会的孤立している生活困窮者に対する支援、教育現場における不登校やいじめなどスクールソーシャルワーカーの配置、精神障害者等の地域移行に関する支援、東日本大震災や熊本地震など災害時の支援など、社会福祉士及び社会福祉士会が果たす役割に対する個人や社会的な期待は、大きくなってきていることを感じています。

私たち社会福祉士会は、これらの個人や社会からの期待や要請に応えなければならず、また、これらに応えていける組織づくりをしていく必要があります。

そのためには、私たち社会福祉士が個人の責務としての個々の能力を高め、高いレベルでのソーシャルワーク実践を行っていくとともに、職能団体の社会福祉士会として社会的な信頼を高め、県民のみなさんに本当に必要とされ、また、専門性が担保された組織づくりを行っていくことが大切だと感じています。

平成5年7月に設立した本会は、本年23年目を迎えました。社会福祉士という国家資格を持つソーシャルワーカーの仲間が集い、私たちの自己研鑽と社会的使命を果たすために、時に熱い議論をし、時に、将来の展望を語りあいながら、職能団体の活動として一歩ずつ歩んできました。社会福祉士ひとりの力では、できることに限界があります。しかし、社会福祉士会という組織となれば、その可能性は大きく広がり、強じんなネットワークを構築できる可能性を秘めています。

昨年度「兵庫県社会福祉士会発展5か年計画2020～未来に向かって～」を策定し、今年度から、会員の増加策の検討、研修ニーズの調査、法人後見の検討、虐待対応への支援、災害支援などに取組んでいきます。5年後には、会員2,000名を目指して、本会の発展のため尽力していきます。

また、生涯研修センターでは、基礎研修を実施するとともに、スーパーバイザーや講師・ファシリテーターの養成にも重点的に取り組み、認定社会福祉士に向けた認証研修を開催するなど、生涯研修制度の充実を図っています。

さらに、ソーシャルワーカーデーをソーシャルワーク関係5団体との共催により開催し、福祉相談センター「ここねっと兵庫」による権利擁護活動、各地区ブロックでの「まちかど相談会」など、県民へのPR、相談活動を積極的に展開していきます。

会長という重責を感じながら、引き続き、谷口副会長、中山副会長をはじめ、新たに選ばれた理事・監事とともに、会員のみなさんから様々なご意見やご協力をいただきながら、これから本会の活動を進めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

## 目次

●ごあいさつ…………… 1

### 特集

●第24回 全国大会報告… 2～6

- 行事報告…………… 7～12
- 委員会だより…………… 13
- メーリングリストとは…………… 14～15
- ブロックインフォメーション… 15～16
- 委員会責任者名…………… 17
- 事務局情報…………… 17～20

1日目 7月2日

報告 広報委員会

基調  
講演

## テーマ「共に生きる社会を創る」

講師 前厚生労働事務次官 伊藤忠商事社外取締役 村木 厚子氏

我が国では、少子高齢化の進行と人口減少社会の到来により人口構造が急速に変化している。人口減少を食い止め、持続可能な社会にするためには「支える側」を拡充する必要がある。そのためには、今後「高齢者」となる人々の持つ力を、社会の潜在パワーであるとし高齢者が生産人口として活躍できる仕組みを構築していく必要があると村木氏は述べる。

そして、子どもの貧困や虐待、いじめなどの頻発においては「社会福祉が負けている」状況だと指摘した。縦割り行政を廃し、地域資源を活用しながら制度を整える要は社会福祉士であると述べ「子や孫が安心して暮らせる社会を一

緒につくっていきましょう」と締めくくった。



全国大会 会長挨拶

## テーマ『「生きる」を支える～社会福祉士の可能性～』

シンポ  
ジウム

コーディネーター  
シンポジスト

日本福祉大学 社会福祉学部 教授 原田 正樹氏  
真言宗豊山派 石手寺 住職 加藤 俊生氏  
愛媛大学 社会連携推進室 教授 前田 眞氏  
特定非営利活動法人家族フォーラム 理事長 米田 順哉氏

基調講演を受け「生きるを支える～社会福祉士の可能性～」というテーマでシンポジウムが開催された。加藤氏は「寺」は日常的に悩み相談を受け、行き場のない人に共同生活の場を提供してきたと話す。寺は、社会の問題を顕在化させ、放置しないという選択肢を持つことで、隙間を埋める社会福祉の役割そのものを担ってきたと述べた。続いて、安心して地域で暮らし続けるために「地域住民の支え合い」を構築するための手法を前田氏が語る。そして、米田氏は障害者同士の結婚生活の事例を紹介し、支援の中心は「本人が望む暮らし」であり、障害者

の「生きる」を支えられる「理念・方針」の確立について語った。また、支援者の豊かな生活の保証についても言及し「しょぼくれた支援者と関わった利用者が輝けるはずがない」と会場の社会福祉士に対し発信した。

「生きる」ことを支えるというテーマは、社会福祉士の活動そのものであり、私たちがライフワークとして取り組んでいる活動であると考えている。人々の幸せを願い、暮らしを支えるということ振り返ることで、社会福祉とソーシャルワークのあり方について考える機会となった。

(報告 小椋 智子)

## 懇親会

懇親会は、大和屋本店「大和の間」にて開催され、400名もの参加者がありました。太鼓の演奏から始まりました。挨拶では、松山市が地元の塩崎恭久厚生労働大臣が登壇されました。因みに大臣の奥様は社会福祉士です。

余興では、愛媛県社会福祉士の役員による「坊ちゃん」の登場人物に扮しての野球拳で盛り上がりました。余興の後は、次年度開催予

定の福島県社会福祉士のビデオメッセージが流れ、役員がマスコットキャラクター候補の「起き上がり小法師」や地酒等を持参されPRされました。次に熊本県社会福祉士のみなさんが登壇され、震災の支援に対する感謝のメッセージがありました。2時間の催しで全国の会員の方々との交流が深まりました。

(報告 谷上 裕子)



太鼓の演奏



蛇口からポンジュース!

2日目 7月3日

## 分科会 報告

### 生活構造分科会

#### 「生活保護定時制高校生の 修学継続要因に関する研究」 ～当事者インタビューの分析から～

生活保護定時制高校生の修学継続を支援するための要因を挙げ、その要因に影響を与えている家庭・学校・福祉事務所・社会資源からなるネットワークモデルにより一体化して

支援していく必要があると結論付けている。しかし、3名のインタビューでは一般化に無理があり、インタビューモデルの一般化は困難であるという課題が残る。

また、「生活保護ワーカーは必ずしも社会福祉士ではない」「その他の一般の支援者がソーシャルワークの手法に似たものを用いて生徒を支援している」という事実を踏まえて、そ



れでは社会福祉士の価値・専門性はどうなのか問われるという最後の発表者の言葉は今回の私自身への宿題となった。

### 「ひとり親家庭等に対する

#### アウトリーチ型相談支援の必要性」

「熊本県ひとり親家庭等心と体の健康づくり支援事業」を社会福祉士会が県から受託し、2011年から2013年にかけて熊本県全市町村で

行ったアンケート（回答：8,560件）をもとに分析した結果を発表した。

社会福祉士は行政・病院・学校と多様なところにいるので、アンケート・分析をするうえで連携がとれた。

熊本県からの委託事業は2013年で終了したが、熊本県社会福祉士会独自事業「ひとり親家庭出張相談」として継続しているという収穫はあった。何より、先の震災後の大変な中、この発表を行った、熊本の社会福祉士の仲間には敬意を表したい。（報告 清水 敦子）

## 分科会 報 告

### 福祉経営・相談援助 2 分科会

#### 「企業ソーシャルワークによる雇用継続への貢献 ～働く人の就労継続と人権尊重のために～」

野垣美由紀氏（株式会社インクルージョンオフィス）  
東京社会福祉士会  
前廣 美保氏 東京社会福祉士会

「ライフワークバランス」や「一億総活躍社会」と謳われる中ではあるが、出産・子育て・介護を理由に離職する女性が多く、その半数弱が離職を後悔しているという現実がある。しかし、人が生き生きとして働ける社会は従業員にとっても企業にとっても目指すべき一つの形である。

発表のあったプログラムは、まず法人と契約を結び、従業員に対し、私生活や仕事上困りごとを専門職が伺うことで、暮らしにくさを取り除くことを目的としている。一方、企業側にとっても、離職防止や告訴予防に役立つ。この手法はアメリカ合衆国の幾つかの企業ではすでに導入されており、効果も明らかになっている。

この取り組みは、社会福祉士にとっての活躍の場を広げる大きな一歩になると考える。このような、これまで活躍してきた分野のみならず、これから新しい領域を切り開く実行力にとっても良い刺激を受けることができた。

（報告 富田 洋介）

## 分科会 報 告

### 地域支援分科会

#### 「広島土砂災害における 広島県社会福祉士会の活動」

2014年8月広島土砂災害における広島県社

会福祉士会の活動と課題について以下の通り報告があった。

発災直後の社会福祉士会会員の安否確認及び情報収集には、平時に整備していた会員メー

リングリストを活用し行った。メーリングリストにより、新聞等報道では知ることのできないタイムリーで地域に密着した情報を得ることができた。また、ボランティアセンターが担う被災者ニーズの把握とマッチングのサポートに注力し、新たな派遣会員が混乱しないように、事前の情報共有をルール化し、メーリングリスト及びSNSを活用して行った。

その他、士業連絡会によるワンストップ支援を図ったことで、調整の迅速化、多職種連携・協働が可能となり、その延長として相互の専門性・役割の理解が進み、権利擁護やホームレス支援といった他の活動でも好影響があった。課題としては、発災後3ヶ月頃から報道

の冷え込みにより会員募集が困難となり、特定の会員に負担が集中する状況が続いたため、終了を見据えた継続的な支援の評価が曖昧なまま体制が縮小してしまい、組織力に大きな課題が残った。

自然災害に対し、防災・減災が謳われて久しいが、日頃の備えの大切さ、そして災害支援活動時の情報共有の肝要さを改めて感じる機会となった。兵庫県社会福祉士会でもメーリングリストを整備しているが、会員全てが登録している状況ではない。もしもに備えメーリングリストの登録拡大に今後も力を入れていきたい。

(報告 胡中 智礼)

## 記念講演

# 「誰も自殺に追い込まれることのない社会へ ～地域のつながりが命を守る～」

講師 清水 康之 (NPO 法人自殺対策支援センターライフリンク代表)

NHK在職中は主に「クローズアップ現代」を担当。2001年、自死遺児たちを一年がかりで取材し「お父さん、死なないで～親が自殺遺された子どもたち～」を放送。その後も、遺児や自殺で亡くなった人の遺書、自殺対策等について取材を続けるが、「推進役」のいない日本の自殺対策に限界を感じ、自らが自殺対策のつなぎ役を担うべくNPO法人ライフリンクを設立し、代表に就任した。

自殺に至る経路にはパターンがあり、幾つかの要因が連鎖或いは併発することにより起こる。その最初のきっかけは、決して特別なことではなく、誰にでも起こりうる日常的な事項であり、連鎖・併発を手前で断ち切っていくことが肝要である。1人が自殺で亡くなると4～5人が遺族となり、毎年12～15万人、既に300万人を超える数になっており、国民40人に1人の割合とな

る。日本の現代社会において、自殺は「国民的リスク」であると言える。また、遺族は「何故気づいてあげられなかったのか」という自責の念や、「自殺なんて卑怯者だ」と罵られるのではないかという不安から、「辛い」ということさえも口にできないことが何よりも辛いのだという。

自殺対策で大切なことは、生きることの阻害要因（将来への不安や絶望、失業や不安定雇用など）を取り除くだけでなく、それと同時に、生きることの促進要因（将来の夢、家族や友人との信頼関係、やりがいのある仕事や趣味）を引き上げていくことである。そして、関連団体とのネットワークの強化、「気づき」のための人材育成、ハイリスク群に対するアプローチ、一般への啓発・周知を同時並行して実施していくことが大切である。

(報告 胡中 智礼)

会 場：福島県郡山市

開催日：2017年6月3日、4日

福島県社会福祉士会会長の島野光正氏曰く、福島には美味しいお酒がたくさんあるとのこと。愛媛県社会福祉士会が「愛媛県は水道の蛇口からみかんジュースが出る」という都市伝説を会場で再現し好評を博した例に触れ、福島県でも美味しいお酒を楽しんでもらいたいとの力強いメッセージがありました。

(報告 胡中 智礼)



次回開催県のおきあがりこぼし



## うすき行政書士事務所 (うすき社会福祉士事務所併設)

いずれかに当てはまる方は是非一度お問い合わせください！

- 福祉・介護サービス事業所を立ち上げたい
- 新しく会社やNPOを興したいと考えている。
- 認定NPO等の準備を考えている。
- 医療法人・社会福祉法人を設立したい。  
定款変更・規則作りなど運営内容に助言がほしい
- 保育所・認定こども園をやりたい
- 成年後見を活用したほうがいい方がいる。
- 遺言書や相続に関する問い合わせを受けた。
- 遺産分割、相続手続きに悩んでいる。

### 《業務内容のご紹介》

・各種公益法人(社団・財団・社福・医療)の設立手続き ・株式会社、NPO法人など設立手続き ・障害福祉サービス事業の手続き  
 ・介護・障害サービス等の設立手続き等 ・介護タクシーの許可取得 ・遺言書、遺産分割協議書作成  
 ・相続対応や成年後見制度の活用など ・クーリングオフなどの内容証明郵便作成 ・訪問介護等の駐車許可申請などの自動車関係  
 ・その他、契約書や覚書作成の事実関係業務 など (司法書士、社会保険労務士、税理士等と連携して業務を行うこともあります)

ご相談はこちらまで。  
どこでも駆けつけます！



行政書士のマスコットキャラクター ユキマサくん

お電話はこちら！

0798-34-3999



090-9264-7594



gosoudan@usuki-office.com

### うすき行政書士・社会福祉士事務所 (大口事務所 併設)

兵庫県西宮市本町7番15号

(阪神西宮駅南 徒歩5分 西宮えびす神社そば)

兵庫県行政書士会・兵庫県社会福祉士会 会員

※行政書士法第1条2行政書士は、他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類、その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とする。(行政書士は業務独占です。行政書士以外の者が他人の依頼を受け報酬を得て業務を行うと行政書士法違反になります。)

## 総会報告

6月25日に本会の第14回総会が開催されました。

國本議長の選出に始まり、会場74名、委任状769名、書面表決19名の合計862名（定足数723名）で総会成立が確認されました。

岡本会長による第1号議案「2015年度事業報告（案）について」の説明後承認されました。

塩尻会計担当理事による第2号議案「2015年度決算（案）ならびに監査報告について」の説明後承認されました。そして、芝監事より「事業が適正に実施されているが、理事会・事務局・委員会の役割分担をしっかりといただきたい。会費未納管理については改善されている。事務局職員の給与規程、就労規則の整備が望まれる。」との追加説明がありました。

荻本選挙管理委員長から第3号議案「役員選出について」の説明後承認されました。その後、すぐに役員選出が行われ、会長に岡本理事、副会長に中山理事、谷口理事が就任しました。

最後にソーシャルワークを世の中に広く知ってもらうことをライフワークとしている中山副会長からの閉会の辞とソーシャルワーカーの協力依頼があり、無事に総会を終えることができました。



## 記念講演報告

記念講演は朝日新聞大阪本社 生活文化部記者の中塚久美子氏をお招きして『こどもの貧困の現実～いま、社会福祉士に期待すること～』と題し講演していただきました。はきはきとした力強い声はとても聞き取りやすくこどもの貧困の現実を的確に分析し、背景には共通の問題が潜んでいることを学ぶことができました。

こどもの貧困率は16.3%に及びこれは40人学級の6-7人にのぼります。またその貧困は連鎖することも徐々に明らかになっています。つまり生活保護受給の母子家庭の4割が母親も生活保護家庭で育ち、母親が精神疾患の世帯は3割にのぼります。また要因としては低学歴、10代出産、DV被害、こどもが病気、こどもが薬物中毒、窃盗、売春などが重複していることがわかってきています。さらに働けども貧困の解消に繋がらない要因としては、女性の労働賃金が男性に比べいまだに低い水準にあることが指摘され、養育費をもらっている母子家庭は19.7%でしかありません。

一方、無料学習会や一緒にご飯を作る「こども食堂」や大阪府箕面市でのこども地域通貨「まーぶ」の取り組みなどの紹介があり、問題に前向きに取り組んでいる人たちがいることは重い主題の中、明るい光でもありました。

最後に国、市町村の動向の紹介がありましたが、まだデータ集めの段階であり、計画を策定しても数値目標がないために実効性が弱いことが指摘されました。しかし、その中でも、住民の声や投書を受けて動く自治体や首長の判断で課題解決に向けて大きく前進する自治体もあるとの話を伺い、1人1人の声は決して小さくはなく、あきらめない姿勢は私たちの日々の業務にも通じるものがあると強く感じました。



7月30日、こうべまちづくり会館及び元町商店街にて「ソーシャルワーカーデー2016 in ひょうご」を開催しました。今年も福祉5団体（兵庫県社会福祉士会、兵庫県精神保健福祉士協会、兵庫県介護福祉士会、兵庫県医療ソーシャルワーカー協会、兵庫県介護支援専門員協会）で協力しながら『知っとうよ認知症～防ぐ・支える・暮らす～』をテーマに開催しました。

暑い中でしたが、それぞれのコーナーにたくさんの方が足を運んでくださり、楽しく交

流しながらソーシャルワーカーの存在や認知症について伝えることができました。



ブラスポルターニョによる  
オープニングセレモニー



ソーシャルワーカーデー主催団体の  
活動パネル紹介



福祉専門職による  
福祉なんでも相談コーナー



スーパーボールすくい



東北被災地支援商品販売



落語家 露の団六さんによる落語

7月7日及び8月23日に標記の研修を開催し、36の方が修了しました。個性的な講師陣の経験に基づいたお話は、かなり刺激的だったようです。アンケートには「今まで頭の中で悩んでいたことが理論として明確化され、自分が無意識に行っていたことが理論に基づ

いていたこともわかり少し嬉しかった。自信を少し取り戻しました」「今回のような組織管理の研修は初めてでしたが、具体的に資料を見たりしながらわかりやすい説明が受けられたと思います。こういった研修を社会福祉士以外の主任やリーダーにも聞いてもらいたい



と思いましたが。そうすると自分が変わるという意識が広がると思いました」などの声が寄せられました、来年度も開催予定です。ご期待ください。



グループワークの様子

## 行事 報告

04

# 2016年度災害支援セミナー ソーシャルワーカーが担う災害支援活動の実際

報告 近藤 健太

8月20日、入道雲が空高くまぶしい季節、兵庫県民会館にて各分野のソーシャルワーカー39名があつまり災害支援について学びました。

第一部では東京から弁護士の岡本正氏を招き、「災害支援における法的知識に基づいた的確な対応が、被災者の生活復興に欠かせない」とのお話をいただきました。

東日本大震災後から、現地に入り、弁護士として現場で無料法律相談を受け付け、一年間で4万件を越す相談内容を分析。復興を巡る法律制度の提言に結び付け、ローン減免制度や相続放棄の期間延長などを実現されました。また、国と自治体との通知文書の公開制度を促進させ、被災地自治体からの災害援助の申請を促進できるよう取り組まれました。

その取り組みをまとめ「災害復興法学」という新しい分野を創られ、防災教育にも取り入れるよう提唱されています。

では、私たちソーシャルワーカーは、「災害発生直後」から何ができるのか。生活再建の支援に寄り添う社会福祉士として、いつどこから何ができるのか、何が求められているのか…。

本会としても、「災害支援委員会（仮）」を立ち上げ、近畿ブロックの各県士会とも協働していく方針です。ぜひ、災害支援に興味のある会員さんにご参加ください！

第二部では、クロスロード研究会の濱氏、桑

原氏、本田氏をお招きし、「クロスロード」を行いました。

クロスロードとは、1995年の阪神大震災の際、神戸市職員が実際に迫られた難しい判断状況をもとに作成されたものです。災害時のジレンマについての質問をもとに、トランプ大のカードを利用した手軽なグループゲームです。参加者は各設問に対して、それぞれの役割を意識し、自らの問題として考えられることができ、自分とは異なる意見・価値観の存在への気づきを得られました。「所属先や職場でも取り組みたい！」と好評でした。

第三部では、再び岡本弁護士から、災害復興現場で市民から寄せられた切なる法律問題について、具体的な支援をご教授いただきました。

そして、恒例の懇親会では、多様な分野に所属するソーシャルワーカーが岡本氏、クロスロード研究会のみなさんを囲んで、復興支援について自由闊達に語りあいました。



岡本氏の講義の様子

## ストレスマネジメント研修～アロマセラピー講座

報告 研修委員会

8月21日にストレスマネジメント研修の一環として毎年開催しているアロマセラピー講座です。今年は淡路ブロックにご協力いただき、淡路島の「パルシェ香りの館」にて行いました。講師はソーシャルネット三祐の吉田みゆき氏です。講習の前にパルシェ香りの館にてバイキングを食し、午後からアロマについての基本知識を学んだ後、石鹸と香水づくりをしました。参加者のみなさんは、風邪気味であったり、肩こりなどあり、自分の状態にあった香りを選んで作製していました。自らの癒しだけでなく、福祉現場での実際の効果についてもうかがえ、実りある研修となりました。



アロマについての基本知識を学ぶ

## 会員交流事業 - 納涼会 -

報告 広報委員会

8月6日、会員交流事業-納涼会-を開催し、32人が参加しました。それぞれ和気あいあいと話しあい、楽しい時間を過ごしました。基礎研修受講生や修了生の参加もあったので、これから基礎研修を受講するという人へのアドバイスの場面があったほか、委員会などの会活動をしている人からの紹介の機会になりました。



記念撮影

## 独立型社会福祉士事務所 見学ツアー

報告 独立型社会福祉士支援委員会

8月21日、加西市地域交流センター集会室及びNPO法人ふきのとうにおきまして、「独立型社会福祉士事務所 見学ツアー」を開催しました。

第一弾の今回、事業所をご紹介くださったのは加西市でNPO法人ふきのとう代表理事を務める村上弘幸氏。加西市の現状や法人の誕生秘話に始まり、事業内容の詳細や行政・関係機関との関係構築、国の制度に準じる事業の展望、そして財務状況に至っては事業所開

設時から現在までの遍歴と、スライドを示しながら非常に赤裸々なお話しが盛りだくさんでした。参加者も徐々にヒートアップした様子で、都度に受け付けるスタイルで進められた質疑応答では広範囲にわたる疑問が次々に挙がり、とても活発な時間になりました。

その後は車に分乗して場所を法人事務所に移し、実際の事業所を拝見しつつ参加者間の名刺交換会に賑わいました。



代表の村上さん



講義中の風景

## 阪神ブロック第1回初任者勉強会

報告 阪神ブロック

7月15日に尼崎市立すこやかプラザで開催された、初任者勉強会には26名の参加がありました。この勉強会は、主に新入会員や入会后間もない方を対象に、顔の見える関係作りを目的に様々な企画をしています。今回は、「知れば安心！ 兵庫県社会福祉士会はじめのいっぽ♪」と題し、委員会活動の紹介や会活動を

行っている会員との座談会を行いました。仕事のかたわら、楽しみつつ会活動に参加している先輩の話や、参加者の社会福祉士会に入会した動機やきっかけ、基礎研修の苦勞の共有など、グループごとに様々な内容で盛り上がりました。参加者のアンケートでは、仲間づくりや、職場以外での勉強をしたいという



動機で参加した人が多かったようです。参加した感想は、「多職種との交流ができてよかった」、「多職種との交流で視野が広がった」、「研修の話聞いて良かった」、「楽しかった」、など好評価をいただきました。勉強会後の懇親会には13人の参加があり、料理を囲んで楽しいひと時を過ごしました。

社会福祉士会の強みは、様々な分野で活躍するソーシャルワーカーと出会い、そこから新たな学びにつなげていけることです。これからも初任者のみなさんに会の魅力をお届けできるような企画をしていきます。



委員会紹介の様子

## 行事報告

09

# 阪神ブロック 伊丹・宝塚・三田部会研修会 「三田市内の成年後見制度利用について考えよう」

報告 阪神ブロック

8月3日に三田市総合福祉保健センター会議室で、標題の研修会を開催し13名の参加がありました。

講師には、丹有法律事務所の馬場弁護士、馬場社会福祉士、安田司法書士事務所の安田司法書士をお招きしました。

研修内容については、実際に受任している事例の内容の説明があり、どういった方法で支援しているのか、関係者との連携状況や今後の見通し、後見制度支援信託利用など、多

岐にわたる実際の活動内容で参加者も熱心に聞いておられました。

質疑応答では、参加者自身の業務につながる成年後見制度に関する質問や弁護士、司法書士など関係機関の支援内容への質問など研修時間ぎりぎりまで質問が続きました。

伊丹・宝塚・三田部会では、今後も会員のスキルアップや関係機関との連携作りなどにつながる研修会等を開催していきます。



## 委員会 だより ①

### 広報委員会

委員長 胡中智礼

当委員会は、様々な社会福祉に関する研修やイベントの取材を行い、会員機関誌「このとり通信」と広報誌「兵庫県社会福祉士会」の編集・発行を行っています。委員会は土曜または日曜に、兵庫県福祉センター5階の事務所にて開催しています。幅広く情報を発信するための“コツ”や気をつけなければいけないこと等、委員会活動を通して情報発信のスキルを身につけることができます。

今号では、兵庫県社会福祉士会第14回総会、第24回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会愛媛大会、ソーシャルワーカーデー2016 in ひょうご、会員交流事業-納涼会-の取材及び記事の作成を行いました。今後も様々な研修やイベントの取材を行い、情報を発信していく予定です。

### 広報委員 募集!

当委員会では一緒に活動してくれる委員を募集しています。写真を撮ることが好き、社会福祉士の魅力を発信したい、業務で研修案内や機関誌を作成している…など広報活動に興味・関心のある方は、下記連絡先までご連絡ください。直接関わりをもっていなくても、興味があるというだけでもOKですので、気軽にお問い合わせください。

兵庫県社会福祉士会 事務局  
syadanhyogo@hacsw.or.jp

## 委員会 だより ②

### 独立型社会福祉士支援委員会

委員長 石原知佳子

当委員会では情報提供ツールとして「独立型社会福祉士支援委員会メールマガジン会員登録」を常時受け付けております。ご登録希望をいただくとメーリングリストへご希望のメールアドレスをご登録し、

- メールマガジン「夢ふうせん」の季刊配信
- 独立型社会福祉士に関する研修・地域・活動情報などの配信などの享受にご利用いただけます。

ご登録ご希望の方はメールにて以下についてご記入の上送信してください。

- ① 件名に「独立型メルマガ会員希望」とお入れください。
- ② 本文にお名前、会員番号、独立型社会福祉士養成研修の受講歴の他、「開業済み」「近日開業予定」「検討中」のいずれかをご記入ください。
- ③ 開業済みの方は開業年月日、屋号をご記入ください。(差支えない範囲で構いません)
- ④ 申込先 hsasao.fukushi@gmail.com (担当・笹尾)

多くのみなさんのご参加を心よりお待ちしております。



## メーリングリストとは



### はじめに/メーリングリストの活用について

現在兵庫県社会福祉士会では、ひよこメーリングリストの運営をしています。登録すると便利なので、ご紹介させていただきます。

### 何ができるの？

登録者に対して一斉に同じ内容の文章を送信することができ、情報の共有が即座に行えます。また登録者は全員が発信者にもなることができ、発信者のトピックスについて登録者全員で双方向的なやりとりが可能になります。

事務局からは、日本社会福祉士会や関係団体、兵庫県下の事業所のイベント情報や求人情報などをタイムリーに発信しています。

登録していない方にはその情報は届きません。

### 注意点

メーリングリストのアドレスにメールを送ると、その内容はみなさんに読まれることとなります。1度メールを送ると削除できません。従って秘密の根回しや、デートのお誘いなどは内容として不適切ですので、みなさん注意してください。

今後もみなさんにとって有益なメーリングリストとなるよう努力を重ねていきますので、みなさん登録の申し込みをしていただきますようお願いいたします。

## メーリングリスト登録方法



### 〈登録方法〉

- ①兵庫県社会福祉士会のホームページ (<http://www.hacsw.or.jp>) にアクセスする。
- ②ページ左の「メーリングリスト」というリンクにアクセスする。
- ③「メーリングリストについてよくあるご質問」をご一読ください。
- ④必要事項を入力し、送信する。

以上の手順を踏んでいただき、事務局で会員かどうかの確認の上で登録いたします。会員確認する都合上、即日登録できないことをご了承ください。

QRコードはこちら





## メーリングリストへの登録アドレスを変更する場合についてのお願い

ひよこ ML への登録アドレスを変更する場合についてのお願いです。

最近、ひよこ ML への登録アドレス数の増加に伴い、メールが届かないこと（エラー）が多く発生してきています。担当として、エラー対応に手間と時間がかかる状態となっています。

対応として、登録アドレスへの変更の連絡がない場合においても、メーリングリストの登録から削除することとします。

ひよこ ML のメールが滞りなく届くよう、登録アドレスを変更したときは、必ず、アドレス変更の連絡・手続きをお願いします。また、携帯アドレス等において迷惑メール対応が設定されている可能性がありますのでご確認ください。

上記の説明で分からない点等ありましたら、syadanhyogo@hacsw.or.jp こちらに連絡ください。宜しくお願いします。

## ブ

### ロックインフォメーション ①

## 神戸ブロック（ブロック長 増山 陽子）

なぜこれほどまでにと思うほどに自然災害が続いております。阪神淡路の大震災の時には誰もが「まさか神戸が…」と思いましたが、東北の方々も「まさかこのようなことになるとは考えたこともなかった」と口にされていました。もはや災害は誰もがいつでも遭遇するものとして考えなければならぬのかもしれないかもしれません。

案内の12月の研修会で取り上げる「クロスロード」は阪神淡路の震災時の経験から生まれた、分かれ道に直面した時、どちらの道を選択するか、それをグループに分かれ、ゲーム形式で行うものです。

また、研修会終了後は会場近辺で忘年会を行います。皆さんで集って大いに盛り上がりましょう。たくさんの方の参加をお待ちしています。

### <今後の予定>

- 11月5日（土） まちかど相談会 於：サンポルタ広場  
12月3日（土） 研修会（クロスロード） 於：J R兵庫駅南 健康ライフプラザ  
忘年会 兵庫駅近辺

\*今年もまた「まちかど相談会」を実施します。

毎年多くの方に協力をいただき、相談件数も年々増えています。神戸駅前地下の年中行事として、そして市民の身近な相談所としてすっかり定着した相談会です。

これまで同様にご協力をお願いします。

（お手伝いいただける方は研修申込み同様ファックスにてご連絡ください）

また、新入会員向けの研修会の開催も考えています。さらに2月には介護保険制度の改正に伴い「総合事業」についての研修会を予定しています。

\*神戸ブロックのメーリングリストにぜひ登録してください  
タイムリーな情報もお届けします。  
アドレス：CSW\_KOBE@EXCITE.CO.JP  
問い合わせ先： 090-8531-5414（増山）

ブ

ロックインフォメーション ②

## 阪神ブロック（ブロック長 中原 克子）

当ブロックでは、2ヶ月に1回役員会を開催するとともに、地域部会の活動を中心に、会員の交流や学習の場づくりを推進しています。

7月15日に「知れば安心！兵庫県社会福祉士会はじめのいっぽ♪」と題し、新入会員等向けの交流会を開催し、26名の参加がありました。

8月3日には「成年後見制度利用について考えよう」をテーマに三田市にて学習会を開催し、13名の参加がありました。

阪神ブロックでは、今後も会員のスキルアップや関係機関との連携作りなどにつながる研修会等開催していきます。

### 《今後の予定》

阪神ブロック以外の方の参加も歓迎です。

10月14日（金） ブロック学習会

「こどもの貧困問題を考える～尼崎市そのっこたやけ食堂の取組から～」

12月4日（日） まちかど相談会・社会福祉士PR活動

### 【阪神ブロックメーリングリスト登録のお願い】

阪神ブロックの方で、当ブロックのメーリングリスト登録をしていない方は、担当者宛にメールを送信し、アドレス登録をお願いいたします。

申し込み・問い合わせ先：sw\_hanshin@yahoo.co.jp



## ■ 委員会責任者名

Committee person in charge

研修委員会	近藤 健太	地域包括支援センター支援委員会	山内 賢治
調査研究委員会	井土 睦雄	こども家庭支援委員会	田邊 哲雄
国家試験対策委員会	薄木 公平	実習教育支援委員会	乾 なち子
広報委員会	胡中 智礼	独立型社会福祉士支援委員会	石原知佳子
相談委員会	西垣 和仁	障がい福祉委員会	尾崎 剛志
ソーシャルワーク研究委員会	酒井 淳子	更生支援委員会	原田 和明
高齢者虐待対応委員会	伊東 圭一	地域移行支援委員会	國本 康夫
ばあとなあ兵庫	伊藤 彰	生活困窮者支援委員会	谷口 智昭

委員会活動についてご質問、問い合わせなどされる場合は、  
下記アドレス宛にお問い合わせください。  
syadanhyogo@hacsw.or.jp

# 事務局情報

## 【お知らせ】

### 第24回近畿ブロック研究・研修 奈良大会について

近畿ブロック研究・研修大会は、近畿ブロックを構成する大阪、京都、奈良、滋賀、和歌山、兵庫の各社会福祉士会が協力して開催している研修会です。本年度は奈良県社会

福祉士会が担当です。みなさん、お誘い合わせ上、ぜひご参加ください。同封の大会案内をご覧ください。

## 会 員 数

正会員 1,497名（2016年8月末現在）

周りの未入会の方に入会をお誘いください。



転居、または職場を異動された場合は、住所変更届を必ず日本社会福祉士会へ提出して下さい。住所変更届等様式は、日本社会福祉士のホームページでダウンロードできます。  
※このとり通信は、メール便にて発送しています。郵便局への転居届では転送されませんので、ご注意ください。

### 年会費引き落としについて

新会員の年会費引き落としについては、日本社会福祉士会からの初回発送物の中に「年会費引き落とし日程」のお知らせが入っていますので、ご確認ください。

### 理事会報告

2016年度 第3回理事会

日 時：2016年6月25日

場 所：兵庫県福祉センター 202

出 席：理事15名 監事2名

協議事項及び報告事項

- 「権利擁護センターばあとなあ兵庫名簿登録規程」の一部改正について
- 会員資格喪失者について
- 日本社会福祉士会からの連絡報告に関すること
  - ・第29回通常総会（6月18日開催）について
- 近畿ブロックの動向について
  - ・代表者会議（8月14日開催）

・研修担当者会議（7月9日開催）

・事務局会議（7月30日開催）

- 平成29年度兵庫県の社会福祉政策への提言について
- その他
  - ・本会ホームページへの広告掲載依頼について

2016年度 第4回理事会

日 時：2016年6月25日

場 所：兵庫県福祉センター 1F

出 席：理事15名、監事2名

第14回総会にて新役員承認後に開催

- 会長の互選及び副会長の指名

2016年度 第5回理事会

日 時：2016年7月23日

場 所：兵庫県福祉センター 202

出 席：理事14名 監事1名

協議事項及び報告事項

- 理事の役割分担について
- 兵庫社会福祉セミナー in 但馬について
- 日本社会福祉士会からの連絡報告に関すること
  - ・リーガルソーシャルワーク 9月18日に移管説明会
  - ・認証研修
  - 障害分野「地域自立生活支援と自立支援協議会」について申請を準備中

児童分野「スクールソーシャルワーク」を  
テーマに検討

- ・ばあとなあ「意思決定支援を踏まえた成年後見制度の見直しと運用改善に関する  
本会意見の論点整理（中間まとめ）」が  
確定

#### ○災害支援について

- ・災害支援セミナー 8月20日開催
- ・熊本地震支援  
7月23日～本会会員を西原村に派遣

#### 事務局に届いた刊行物のご紹介

事務局に届いた刊行物を閲覧できるように  
しましたのでご活用ください。

- \*（公社）日本社会福祉士会  
日本社会福祉士会ニュースNo.180
- \*（公社）大阪社会福祉士会  
なにわだよりNo.215～218  
大阪社会福祉士第22号  
大阪社会福祉士会堺市部創立10周年記念誌
- \*（公社）東京社会福祉士会  
東京社会福祉士会ニュースvol.232～233
- \*（公社）北海道社会福祉士会  
かわら版11月号
- \*（一社）岡山県社会福祉士会  
岡山県社会福祉士会だより6月号～8月号
- \*（一社）静岡県社会福祉士会  
静岡県社会福祉士会 No.262～264

- \*（公社）神奈川県社会福祉士会  
かながわの風 vol.12
- \*（公社）埼玉県社会福祉士会 会報第21号
- \*（一社）栃木県社会福祉士会 会報第46号
- \*（公社）福岡県社会福祉士会  
福岡県社会福祉士会研究誌9号
- \*（一社）岐阜県社会福祉士会  
ソーシャルワーク岐阜第21号
- \*（社福）きょうされん  
月刊きょうされんTOMO8月号
- \*（社福）兵庫県社会福祉協議会  
ひょうごの福祉6月号～7月号
- \*（一社）兵庫県介護支援専門員協会  
ケアマネット第41号
- \*兵庫県立福祉のまちづくり研究所  
アシステック通信75号
- \*全国被害者支援ネットワーク  
被害者支援ニュース第20号
- \*兵庫県歯科衛生士会  
兵庫県歯科衛生士会50年のあゆみ

#### 定期購読書籍

書籍を拡充しました。事務局にて自由にお  
読みいただくことができます。

- \*月刊福祉（全社協）
- \*月刊ケアマネジャー（中央法規）
- \*生活と福祉（全社協）

## 今後の予定

2016年度 理事会・総会のご案内

### 【日 程】

- 第7回 理事会 10月22日（土）
- 第8回 理事会 11月26日（土）
- 第9回 理事会 12月18日（日）
- 第10回 理事会 1月21日（土）
- 第11回 理事会 2月18日（土）
- 第12回 理事会 3月25日（土）
- 第15回 総 会 3月25日（土）

協議事項等がありましたら、各理事又は事務局へご連絡ください。



## ..... 事務局連絡先 .....

### 【事務局】

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会

〒651-0062

神戸市中央区坂口通2-1-1

兵庫県福祉センター5階

TEL : 078-265-1330

FAX : 078-265-1340

### 【事務局員】

事務局長	西野 佳名子
事務局次長	谷口 智昭
事務局員	中村 智穂美
事務局員	北野 和香子
事務局員	胡中 智礼
事務局員	笹岡 久美
事務局員	萩原 美千紘

### 【事務局メールアドレス】

syadanhyogo@hacsw.or.jp

### 【ぱあとなあメールアドレス】

TEL : 078-222-8107

partner-jimu@hacsw.or.jp

### 【研修申込専用メールアドレス】

entry@hacsw.or.jp